

足立区立東伊興小学校
校長 三宅 文夫 様

足立区立東伊興小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 海老沼 新雄

令和5年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

1) 学力向上アクションプランについて

学力向上への取り組みが、いっそう組織的に行われるようになったと聞いている。ICTの活用も進んでいて素晴らしい。自主学習も低学年から取り組んでいて、よく先生方がほめてくれていると聞いている。子どもたちがテーマ選びを真剣にしていることに驚いた。また、先生方も算数の授業力向上を目指し、校内研修を熱心に続けているようだ。区の学力調査で児童も先生方も自信をつけられるような展開を期待している。図書支援員による読み聞かせや紹介もとても良いと思う。読書量が一層増えることを願っている。

2) 豊かな心の育成及び体力の向上について

「hyper-Q U」を分析して不登校やいじめに対応し、成果が上げていると聞いて少しは安心した。先生方がカウンセラーと連携をして児童に寄り添い、児童の悩みをできるだけ解決してほしい。また、道徳や憲法教育でじっくりと人権について指導を行ってほしい。あいさつや言葉遣い、マナーなどは児童による差が大きいように感じる。

体力低下の対策のため、いっそう運動機会を増やしながらか楽しさも体験させてほしい。

3) 地域に開かれた教育について

コロナ禍を終えて、時代に対応した改革や前に進む努力を続けていただいていることに感謝している。久しぶりに行事を参観し、改革と内容の充実が両立していた。学校・家庭・地域が役割を果たしながら連携する必要については同感である。地域活動が弱まっているので、地域でも子供会を活性化するなどを進めている。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

○思考・判断・表現の習熟度が低いようなので、校内での研究を進めて、話し合い活動や調べる学習を充実してほしい。ICTリテラシーの指導も併せてしっかりお願いしたい。

○心の育成に関しては、今まで以上に地域の方々の協力を得ながら、体験活動を増やして子供たちがほめられる機会を増やして行ってほしい。親の言葉遣いも悪化しているのが心配だ。あいさつ運動などを行って意識を高めることに協力したい。

次年度は校舎外壁改修工事で校庭の利用可能範囲が少なくなることが心配だ。体力向上を継続していけるよう、休み時間の校庭利用を全学年にさせるなど工夫をお願いする。

○地域スポーツや地域行事に参加児童が増えるように、保護者・地域で支えて、推進していきたい。また、キャリア教育には引き続き地域で協力していきたい。